



「日本遺産」認定のまち

忍びの里伊賀・甲賀

【問い合わせ】

忍びの里伊賀甲賀忍者協議会事務局

伊賀市観光戦略課 ☎0595-22-9670

甲賀市観光企画推進課 ☎0748-69-2190



ふじわら ち かた ち かた くつ 藤原千方伝説地「千方窟」

南北朝時代の動乱を描いた『太平記』。この物語に登場する藤原千方将軍が、四鬼を従え、朝廷軍と戦うため立てこもったとされる砦跡が、伊賀市高尾に残っています。

ここは千方窟と呼ばれ、高さ約6mを超える柱状の岩が屏風のように並んで窟となっている天然の要塞があり、千方将軍を祀る小さな祠もあります。

千方将軍が従えていた四鬼は、射られた矢も弾き返してしまう屈強な身体を持つ「金鬼」、強風を吹かせて敵城を吹き飛ばす「風鬼」、洪水を起こし敵を溺れさせる「水鬼」、姿を隠し敵を惑わせる「隠形鬼」と言われる4人の山伏で、並外れた能力を持つことから、忍者の原型ともいわれています。



千方将軍と四鬼が立てこもったとされる千方窟

千方窟
伊賀市高尾地内



忍びの里伊賀甲賀忍者協議会ホームページ



情報交流ひろば

となりまち いが・こうか・かめやま

伊賀市・滋賀県甲賀市・亀山市 3市連携イベント開催

いこかトレイルイベント「ミツマタ咲く野登山へいこか！」

参加者募集

伊賀市、甲賀市、亀山市では、いこか広域連携の取り組みとして、市民間の交流を図ることを目的に3市の市境の山で登山イベントを開催します。初心者でも気軽に山登りを楽しめるコースです。ミツマタの花や野登寺の歴史などの魅力を感じながら山頂をめざしましょう。

【と き】 3月15日(土)

午前8時30分～午後3時（午前8時30分集合出発）

【登山場所】 野登山（亀山市）（標高851.4m）

【集合場所】 亀山市役所本庁

【対象者】 市内在住の中学生から75歳までの人

【定 員】 各市10人（定員を超えた場合は抽選）

【持ち物】 リュックサック、昼食、飲み物、雨具、行動食

【服 装】 体温調整がしやすい登山に適した服装、帽子、手袋、登山靴

【申込期間】 1月20日(月)～2月14日(金)（電話の場合、最終日は午後5時まで）

【申込方法】 応募フォームまたは電話で下記まで

【申込先・問い合わせ】

亀山市商工観光課 観光・地域ブランドグループ

☎0595-84-5074



応募フォーム



野登山

登山道には平安時代に創建された野登寺があり、緑と歴史を感じられる山です。



ミツマタ

野登山山麓にはミツマタの群生地が広がります。毎年開花の時期（3月頃）には市内外から多くの人が訪れます。



伊賀城和

定住自立圏ニュース

【問い合わせ】 総合政策課

☎22-9620 FAX 22-9672

✉sougouseisaku@city.iga.lg.jp





首長インタビュー 伊賀城和定住自立圏への思い

伊賀市

歴史的なつながりも深い伊賀城和定住自立圏に今年の10月から名張市が加わり、3府県5市町村という大きな圏域となりました。各市町村の人口が減少していく中で、広域連携をさらに強化し、地域のさまざまな課題解決に向け一丸となって取り組みを進めていきたいと考えています。

県議時代には前伊賀市長と連携し、定住自立圏内の高校進学エリアの拡大に取り組みました。現在は、伊賀市内のすべての県立高校に志願可能となっているため、ぜひ進学を検討していただきたいと思います。

また、JR関西本線の利用促進に向けて、令和7年2月に名古屋駅から伊賀上野駅間の直通列車の実証運行が予定されており、直通運行を実現させ、定住自立圏域の魅力を鉄道を通じて発信して



伊賀市長 稲森 稔尚

【最近のマイブーム】

伊賀のおいしいものをたくさん食べることにしています。



いきたいと思います。

今後についても、新たに加入した名張市を含め、各市町村が協力してさらなる連携を深め、観光、教育、交通インフラなど幅広い分野での地域の活性化に向けて情熱を燃やしていきます。

「毛原廃寺の調査結果と周辺の古代寺院」 講演会・現地見学を行いました

11月16日(土)、定住自立圏連携事業として、奈良県山添村の国史跡毛原廃寺の現地見学と、その造営の背景を考える講演会を行いました。



毛原廃寺は奈良時代の大寺院跡で、金堂や南門の礎石が当時のまま残されています。参加者は、講師による講演や現地見学を通して、古代寺院の実態や歴史的な位置付けについて学びを深めました。

